

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月20日

協議会名:四国中央市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
宇田タクシー(株)	川之江エリア 区域運行 1日7便	利用者からの要望等については、運行事業者へ随時伝えて、利用しやすい環境づくりを進めた。 利用促進を促すため、市役所及び公民館等の公共施設に備え付けている利用案内チラシについて、市内の病院に掲載依頼をし、更なる利用周知を実施した。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 利用者数 目標値: 5,160人/年 実績値: 4,373人/年 (対前年比 :92.24%) (対前々年比:85.59%)  収支率: 目標値: 19.8% 実績値: 14.1% (対前年比 :増減なし) (対前々年比:1.4%減)  市負担額: 目標値: 4,441千円 実績値: 5,166千円 (対前年比 :12.0%増) (対前々年比:11.6%増)  川之江エリアの谷筋が多い地形的特徴により効率的な運行が出来ないことから、利用者が減少傾向にある。	今後は、デマンドタクシー乗合率の向上を図るため、幹線路線バスにおける拠点バス停の利用環境向上策を様々な視点から考察していきたい。利用者ニーズの把握に努め、利用促進に繋げる策として、利用案内チラシの改良や広報誌等での周知を継続的に取り組んでいきたい。 今後も、利用者が安心して利用出来るよう乗車前の検温・マスク着用やアルコール消毒等の徹底及び車内換気を図り、安心・快適な車内空間を提供していきたい。
三島交通(株)	三島エリア 区域運行 1日7便		A 計画通り事業は適切に実施された。	A 利用者数 目標値: 3,321人/年 実績値: 3,411人/年 (対前年比 :96.55%) (対前々年比: 103.71%)  収支率: 目標値: 19.8% 実績値: 20.2% (対前年比 :1.3%減) (対前々年比:3.8%減)  市負担額: 目標値: 4,953千円 実績値: 6,259千円 (対前年比 :11.9%増) (対前々年比:12.6%増)  利用者及び収支率は目標数値を越えた。 ※市負担額は事業者合算の数値である。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月20日

協議会名:四国中央市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
三島交通(株)	三島嶺南エリア 区域運行 1日3往復		A 計画通り事業は適切に実施された。	B 利用者数 目標値: 999人/年 実績値: 900人/年 (対前年比 : 84.99%) (対前々年比: 91.00%)  収支率: 目標値: 19.8% 実績値: 20.2% (対前年比 : 1.3%減) (対前々年比: 3.8%減)  市負担額: 目標値: 4,953千円 実績値: 6,259千円 (対前年比 : 11.9%増) (対前々年比: 12.6%増)  収支率は越えているが、利用者及び市負担額は目標達成していない。 ※市負担額は事業者合算の数値である。	
三島交通(株)	早朝夜間便 区域運行 1日1往復		A 計画通り事業は適切に実施された。	A 利用者数 目標値: 290人/年 実績値: 305人/年 (対前年比 : 164.86%) (対前々年比: 106.27%)  収支率: 目標値: 19.8% 実績値: 20.2% (対前年比 : 1.3%減) (対前々年比: 3.8%減)  市負担額: 目標値: 4,953千円 実績値: 6,259千円 (対前年比 : 11.9%増) (対前々年比: 12.6%増)  利用者及び収支率は目標数値を越えた。 ※市負担額は事業者合算の数値である。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和5年1月20日

協議会名:四国中央市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
三島交通(株)	土居エリア 区域運行 1日7便		A 計画通り事業は適切に実施された。	B 利用者数 目標値: 3,845人/年 実績値: 3,770人/年 (対前年比 :100.6%) (対前々年比: 99.1%)  収支率: 目標値:19.8% 実績値:20.2% (対前年比 :1.3%減) (対前々年比:3.8%減)  市負担額: 目標値: 4,953千円 実績値: 6,259千円 (対前年比 :11.9%増) (対前々年比:12.6%増)  収支率は越えているが、利用者及び市負担額は目標達成していない。 ※市負担額は事業者合算の数値である。	
(有)GOHAN	三島エリア 区域運行 1日7便		A 計画通り事業は適切に実施された。	A 利用者数 目標値: 3,321人/年 実績値: 3,809人/年 (対前年比 : - %) (対前々年比: - %)  収支率: 目標値:19.8% 実績値:21.8% (対前年比 :-) (対前々年比:-)  市負担額: 目標値: 1,154千円 実績値: 2,374千円 (対前年比 :-) (対前々年比: -)  利用者及び収支率は目標数値を越えた。 ※令和3年1月運行開始の為、前年及び前々年対比が出来ない。	

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月20日

協議会名：	四国中央市地域公共交通会議
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>四国中央市は、愛媛県の東端に位置し、面積は約420平方キロメートル、人口は約8万3千5百人となっている。</p> <p>当市の地勢は、平野部が狭小で、谷筋が多い地域や幹線道路が整備されていない地域が多い状況にある。</p> <p>そのため、路線型交通ではバス停の位置が自宅から遠い地域などをカバーすることができないことから、一定の区域ごとに「デマンド型(予約型)の乗合タクシー」の区域運行を実施し、広域幹線路線バス等に接続する必要がある。</p> <p>人口減少・高齢化が進展しており、自家用車を運転しない高齢者など交通弱者の通院や買い物等の生活移動手段を確保することが課題となっていることから、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。</p> <p>「デマンド型の乗合タクシー」の区域運行によって、広域幹線路線バス等と連携のとれた生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>